

				科目コード*	112
科目名	ウィメンズヘルスケア (Women's Health Care)			選択区分	必修
単位数	1単位	時間数	15時間	学期	前期
担当教員	小嶋 理恵子、井上 明子			区分	助産学実践領域
授業概要	女性の生涯を通してその傍らにいる存在の助産師として、女性の身体的、精神的、社会的な健康の維持増進に努める意義や、様々な問題が生じた場合の援助に必要な知識と技術について教授する。				
授業目標	1. 女性の健康の概念、ライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツ、および助産師の実践活動について説明できる。 2. 女性の心身の健康上の特性や各期の対象を支援するために必要な知識や理論について説明できる。 3. 性暴力、DVなどの女性の健康被害に対する支援について説明できる。 4. 家族計画や受胎調節の実際を含む援助計画を立案し、ロールプレイの中で実施できる。				

授業内容

回	項目	内容	担当者
1	ウィメンズヘルス概論	女性が健康的な状態であるということ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 女性の健康と助産師の役割	小嶋理恵子
2	女性の健康に影響する要因	影響要因 女性のエンパワメント・ライフスキル教育 性差医療	
3	女性の健康とケア①：思春期	女性のライフサイクルと健康（概説） 思春期女性の月経の特徴 思春期の健康問題とケア	
4	女性の健康とケア②：成熟期	成熟期女性の月経の特徴 エストロゲン依存性疾患 女性のQOLやボディイメージ、セクシャリティ、 パートナーとの関係性に影響する疾患を持つ 女性に対する援助	
5	女性の健康とケア③：更年期・老年期	更年期・老年期の女性の特徴と健康問題 老年期女性の身体的心理社会的側面 ヘルスプロモーションに向けたケア	
6	セクシュアルヘルスとリスク回避行動①	家族計画の保健指導案作成	小嶋理恵子 井上明子
7～8	セクシュアルヘルスとリスク回避行動②③	家族計画と受胎調節指導の実際 演習：各種受胎調節法の特徴と具体的な 使用方法 ロールプレイ	
成績評価方法	授業に対する取り組み、積極性（20%） 保健指導案作成（60%）保健指導ロールプレイ（20%）		
教科書	堀内成子 「助産学講座5 助産診断・技術学I」（医学書院）		
参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・吉沢豊予子「助産師基礎教育テキスト第2巻 女性の健康とケア」（日本看護協会出版会） ・山本あい子「助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論」（日本看護協会出版会） ・村本淳子・高橋真理編集「ウィメンズヘルスナーシング概論」（ヌーヴェルヒロカワ） そのほか、適宜講義資料に文献を提示する。		
備考	第6～8回目は各種受胎調節法の具体的な使用方法演習を行う。		